

The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 6th March 2018

国際理解コース 1年生総合学習の時間が終了しました

国際理解コース選択者に向けて、12月～3月の総合学習の時間に計画されていた、一連の行事が終了しました。普通コースではこの期間、5月の修学旅行に向けての調べ学習、発表が行われますが、国際理解コースでは修学旅行の行き先が異なるため、2年生からのコース開始前の準備を行いました。



山ノ井優美香さん (1/26)

	講師・内容
12/15	オリエンテーション、グループ分け、役割分担 オンラインセッションテーマ提示 オーストラリア提携校のベン先生来校、交流
1/12	一宮市国際交流員 アレッサンドラさん講演 アレッサンドラさんの故郷であるイタリアについて、紹介 国土、文化、現在抱える問題など
1/26	本校卒業生 NGO 職員 山ノ井優美香さん講演 NICE (日本国際ワークチャンプセンター) で国際ボランティアの仕事に携わることになったきっかけ、タイやネパール、ケニアで現地の人たちと関わって感じたことなど
2/2	2/9 マレーシアとのオンラインセッションに向けての準備 パソコン室にてグループ毎で練習
2/9	マレーシア ラサール高校とのスカイプセッション 日本とマレーシアの正月、マレーシアの文化や民族などをお互いに英語で発表

2/16	梶山女学園大学 マルコ先生 (国際コミュニケーション) 「クールジャパンの中の日本文化」 日本のアニメ「千と千尋の神隠し」の1シーンの中に潜む、日本の伝統芸能との関わりを探る
3/2	名鉄観光 濱口貴至さん 国際理解コースの修学旅行先である台湾紹介初級者編 台湾の基礎知識、歴史、日本とのかかわりなど
3/16	本校非常勤講師 外務省 OG 杉本尚美先生 在オランダ日本国大使館で外交官として勤務していた時代に感じたこと、考えたこと

各回の係は、会場のセッティングや講師紹介、司会などを行いました。本校卒業生の山ノ井さんが「一口に国際と言っても、国際〇〇といういろいろな分野がある。国際経済、国際関係、国際コミュニケーションなど。私は国際協力に関わっている。あなたの興味のある分野はどれですか」と問いかけていたように、国際には様々な切り口があります。今回の行事は、その国際〇〇を少しずつ知ってもらい、興味のある分野を探るためのものです。また、杉本先生は「他人と関わり、他国を知ることは、自分と自分の国を知ること。知ってこそ、疑問と問題意識が生まれてくる」と述べられ、素直な頭と心でこれからの活動を楽しんで、とエールを送られていました。

C3 教室 (国際ルーム) 完成

4月から国際理解コースの授業で使用する、C3教室の整備が終了し、国際の生徒用の一人一台パソコンが使用できるようになりました。国際英語の授業や調べ学習、研究発表の準備などに活用していきます。

タブレットにもなります

キャビネットで充電中

先生席



The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 6th March 2018